

ショートステイプログラム実施報告書：2012年度

松永, 典子
九州大学大学院比較社会文化研究院

祝, 利
九州大学大学院比較社会文化学府

仇, 文俊
九州大学大学院比較社会文化学府

季, 江静
九州大学大学院比較社会文化学府

他

<https://hdl.handle.net/2324/1955689>

出版情報：ショートステイプログラム実施報告書。2012年度，2012-09。九州大学大学院比較社会文化学府日本語教育講座
バージョン：
権利関係：

2012 年度ショートステイプログラム 実施報告書

2012 年 8 月 1 日——2012 年 8 月 31 日

九州大学大学院比較社会文化研究院

特色ある研究プログラム採択課題

「短期日本語教育実践者養成プログラム」実施チーム

目次

I 実践編

一、 概要	1
二、 実施スケジュール	4
三、 実践報告	6
四、 参加者感想	29

II 資料編

一、 仇文俊 「大河ドラマに関するクイズ」	
二、 原山有希・張松儀 「日本事情 1:最近の話題」	
三、 原山有希・張曉蘭 「日本事情 2:九州の地方産業」	
四、 原山有希 「日本事情 3:日本の産業構造と企業」	
五、 原山有希 「日本企業の面接」	
六、 笹村はるか 「海外日本語教育事情」	
七、 天野裕子 「Can Do Statements と日本語教育」	

III 編集後記

60

I 実践編

一、概要

松永 典子

1. はじめに：ショートステイ・ショートビジット申請に至る経緯

「短期日本語教育実践者養成プログラム」（以下、短期プログラム）は、2012年度比較社会文化研究院特色ある研究プログラムの採択課題であり、ショートステイプログラムは「短期プログラム」の実践研究の一環として実施したものである。「短期プログラム」は、比較社会文化学府（以下、本学府）が掲げる教育目標・「異なる社会文化の共生」、「学際的に問題解決に取りくむ研究者、および高度専門職業人の組織的養成」に沿い、国内外の高等教育機関の連携により、柔軟性・実践力・総合的知識を兼ね備えた日本語教育実践者を養成するための教育に取り組むものである。

H19年（2007年）に釜慶大学校人文社会科学大学（以下、釜慶大）と交流協定を結んだからは、毎年11月の大学祭の時期を利用して、希望者には釜慶大での日本語教育実習の機会を提供してきており、釜慶大からも毎年5名程度の交換留学生在が本学府で修学している。

本年度は日本学生支援機構の平成24年度留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジットプログラム）に申請した結果、採択され、初めて釜慶大からのショートステイ（以下SS）の学生5名（大学4年生3名、大学院修士課程2年生2名）を受け入れることになった。5名はともに日本語教師をめざす学生である。本学からも例年通り、11月にはショートビジット（SV）の院生5名が派遣される。SS・SVプログラムに申請した背景には、院生の経済的負担を多少なりとも軽減し、ひとりでも多くの院生に日本語教育実習に参加する機会を提供したいという思いがあった。

2. 「短期日本語教育実践者養成プログラム」の目的・目標

目的：国内外の高等教育機関の連携により、柔軟性・実践力・総合的知識を兼ね備えた日本語教育実践者を養成する。

目標：本プログラム参加者は、以下の知識・技能を獲得することを具体的目標としている。

- 明確な問題意識、確かな専門知識に裏打ちされた批判意識、異質なものに対しても、柔軟に対処し得る感受性・柔軟性
- 受信し考えるだけでなく、発信し行動する実践力
- 日本と社会との相互理解を推進させるための日本及び海外諸地域の社会・文化に関する総合的知識

3. SSプログラムを実施するにあたって

上記「短期日本語教育実践者養成プログラム」の目的・目標に照らし、SSプログラムに関しては、日本語教師をめざす双方の学生・院生が自らプログラム、プロジェクトを組

み、手探りの中で交流・ディスカッション・相互理解を行っていく形がふさわしいのではないかと考えた。手順としては以下ようになる。

まず、「多文化関係論」ゼミの最終課題として、SSプログラムの実施案を受講生に考えてもらい、そこで出された提案や情報を釜慶大からの学生にもプログラムの予定表の中にもまとめる形で紹介した。次に、「多文化関係論」ゼミ受講生を中心に、SSプログラムを実施するチームメンバーを募り、プログラムの予定を策定していった。本学府で提供できる授業（ちょうどプログラム実施期間に開講されている日本語教育集中講義、日本語国際ディベート講座等）のほか、実施メンバー各自が開講できる授業を組み込む形とし、釜慶大からの学生にも、自主プロジェクトを実施してもらい、最後にプロジェクトの結果を発表してもらうことにした。実施メンバーにはゼミで考えた授業案や各自のアイデアをもとに、具体的な授業の内容を考えてもらうことにした。また、実施メンバーには、授業担当日以外でも参加可能な日には授業に参加してもらい、ともにディスカッションに加わるなど、適宜授業のサポートも相互に行った。ドクターの院生には本プログラムのとりまとめ及び報告書の編集をしてもらうこととした。

4. SSプログラムならではの授業展開

今回のSSプログラムの最大の特徴は、チームメンバーである大学院生自らが日本語教師をめざす釜慶大からの留学生に対し、多彩なテーマを設定し、授業および課外活動を実施したことである。具体的な授業テーマと活動は表1に示すとおりである。これは、元々、本プログラムを双方の学生・院生にとって、日本語教師としての研鑽の場としたいというねらいの下に企画したものであった。短期間の実践の効果を測ることは難しいが、たとえば、釜慶大の留学生からは「普段のゼミには無い多様なテーマについて考えることができ、視野が広がった」「1か月が1年に相当するほどの充実した時間を過ごすことができた」などの声があり、かなり高い評価が得られたものと考えられる。

5. 自己評価と学習者評価

本学府のチームメンバーによる授業の自己評価に関する詳細は各自の授業報告に譲るとして、要は、本プログラムでは、単に日本語を教えるという授業では扱えない授業を考え、実践するということができたとすることが大きいと考える。

釜慶大の留学生に対しては1か月のプログラムを修了し、相当の成果を修めたことを認める修了証書を発行し、各自に付与した。ただし、釜慶大の留学生は、日本語教育の教職課程を履修していることが条件となっているため、韓国で実施される日本語教育能力試験や定期試験の結果により、就学成果が認定されることになる。

6. おわりに：本プログラムの意義

日本語教師養成に関しては従来、日本から海外へ出向く教育実習に関しては多くの実践

研究がなされてきたが、日本で受け入れる大学院レベルの短期集中日本語教師養成に関しては、まだ実践事例も少なく、どのようなプログラムを提供し、どのような評価の枠組みを設定することが必要なのかという基本的な事項に関してさえ具体的な提案がなされていない状況である。

以上のような短期集中日本語教師養成が抱える課題の解決に向け、本研究では、短期集中日本語教師養成プログラムの立案・実践・報告・点検という一連の活動を、実際に大学院生自身に企画・実践させ、そのプログラムの効果を検証することを通して、大学院レベルの短期集中日本語教師養成プログラムのモデル作りを行っていくことをめざした。このうち、点検という点に関しては十分に検討できていない点が残るものの、各自の実践のふりかえりからは、受け入れる留学生のニーズや不安、期待といったものに直接接触れることができたことから得られた学びが大きいことが見てとれる。さらに個々人の今後の展開の方向性や課題といったものも示唆されている。そうした意味で、こうした実践研究がもつ意義は十分にあったと言えよう。

今後、国内外の高等教育機関の連携が拡大する中で、日本語教師の実践力のひとつとして、こうしたプログラムの立案・実践能力が問われる場面はますます増えることが予想される。本プログラムが各人の日本語教師としての今後の実践に具体的に生かされるものであることを願う。

最後に、本研究プログラムを支援してくださった比較社会文化研究院、日本学生支援機構に深く感謝申し上げます。

二、実施スケジュール

月日	時間	教室	スケジュール	授業タイトル	担当者(敬称略)
8/1	17:00	第1	オリエンテーション		松永
	18:00		歓迎会		祝利
8/2	10:00	第1	① 授業	日本の看護、介護分	① 相原 ② 仇
	13:00		事務手続き 11:45 ② 授業	野で働く人 大河ドラマ	
8/3	10:00	第8	日本語教育集中講義	上級日本語教育方法研究	山本富美子先生 (武蔵野大学)
8/4(土)	9:00	第8	日本語教育集中講義	同上	同上
8/5(日)			自主活動		
8/6	10:00	1304	国際日本語ディベート講座		井上奈良彦先生 (比文)統括
8/7	8:40～ 18:10	1304	国際日本語ディベート講座		同上
8/8	8:40 ～18: 10	1304	国際日本語ディベート講座		同上
8/9	13:00	第8	③ 授業	日本事情1	③ 原山・張松儀 ④ 相原
	14:50		④ 授業	海外から日本へ来た 子供	
8/10	13:00	第8	⑤ 授業	日本事情2	⑤原山・張曉蘭
8/11(土)			自主活動		
8/12(日)			自主活動		
8/13			自主プロジェクト		
8/14			自主プロジェクト		
8/15			自主プロジェクト		
8/16			自主プロジェクト		
8/17			自主プロジェクト		
8/18(土)			自主活動		
8/19(日)			自主活動		
8/20	13:00	第8	⑥ 授業	異文化交流	⑥⑦藤野(ダルシ ャニー・ディヌーシ ャ協力)
	14:50		⑦ 授業		
8/21	13:00	第8	⑧ 授業	現代社会 1	⑧原山

8/22	9:30～ 15:00	学外	㊸ 活動	糸島日本語教室見 学、浴衣体験	㊸天野・ディヌー シャ・ダルシャニー
8/23	13:00	第8	㊹ 授業	現代社会 2	㊹原山
8/24	13:00 14:50	第8	㊺ 授業・ブギョン大学生発 表 ㊻ 授業	異文化交流	㊺㊻ディヌーシャ (ダルシャニー・藤 野協力)
8/25(土)			自主活動		
8/26(日)			自主活動		
8/27	8:30～ 15:00	学外	㊼ 活動	博多周辺のお寺見 学	㊼天野・ダルシャ ニー
8/28	13:00	第8	㊽ 授業	海外日本語教育事 情	㊽笹村
8/29	13:00	第8	㊾ 授業	can do statements	㊾天野
8/30	13:00	第8	自主プロジェクト発表会 修了式(修了書授与) 歓送会		松永 全員 季江静
8/31			帰国		

三、実践報告

日本の介護、看護分野で働く人

相原幹子

担当日：2012年8月2日

時間：10：00－11：30

授業テーマ：日本の看護、介護分野で働く人

目標：さまざまな目的の日本語教育があることに気づく。自分の意見を述べる。

使用教材：生教材

1. はじめに

今回、第1回目の授業として、「日本の看護・介護分野で働く人」というテーマで意見交換を行った。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

看護・介護の日本語について考えることで、さまざまな目的の日本語教育を考えるきっかけにしてほしいと思い、このテーマを設定した。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

1. 海外で言葉が通じないという状況の疑似体験として、言葉を使わず、絵とアクションを使ってペアで自己紹介をした。その後、自分の言いたいことが伝えられていたかどうかを確認するため、自己紹介をされた側が口頭でペアのことについて話した。

2. 日本と韓国の看護師交流計画、日本の病院で看護師として勤務している韓国人看護師のインタビューの文章を読み、意見交換を行った。時間の関係で介護は扱わなかった。

参考資料：<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/info/20120706-2.html>

http://www.enurseweb.jp/contents_wa_nurse.php?no=09

4. 自己評価と学習者評価

自己紹介の方法については概ね好評だった。学習者にとっては看護師の日本語については普段考えることのない内容であった上、今まで授業の中で自分の意見を出して話し合うという経験が少なかったことから、もう少し後の回の授業で扱うべきだった。

5人の学習者には読解のスピードにかなりの差が見られた。

5. おわりに

この授業の実践は、報告者が日本で働く一般的な看護・介護の分野で働く人について考えるきっかけになった。

大河ドラマから日本の歴史を勉強しましょう

仇文俊

担当日：2012年8月2日

時間：13：00－14：30

授業テーマ：大河ドラマから日本の歴史を勉強しましょう。

目標：大河ドラマに関するクイズに答えることによって、学習者が日本の歴史に対する興味を引き起こす。

使用教材：教師が作ったパワーポイント資料

1. はじめに

今回、「大河ドラマから日本の歴史を勉強しましょう」というテーマを設定し、日本の「大河ドラマ」を素材として、学習の皆さんと一緒に日本の歴史を勉強することができた。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

授業の対象者は韓国からの留学生である事を考えた上で、日本の歴史に興味を持っている方が多い可能性が高いと考え、日本の歴史を授業の内容として決めた。また、どのような形で授業をするのかについていろいろ考えた。教師が一方的に説明するのが絶対面白くなく、学習者の興味を起こすことができないと思い、罰ゲームの形で授業を進んだ。罰ゲームをすることによって、学習者がリラックスな雰囲気の中で、日本の歴史を勉強し、日本の歴史の対する興味を引き起こすことがこの授業の目的である。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

授業の内容は教師がネットからダウンロードした大河ドラマに出ていた人物や歴史事件に関する 35 個のクイズに基づいて作られたパワーポイント資料である。35 個のクイズは二種類に分けられ、一つは 20 個の「必須回答クイズ」であり、もう一つは 15 個の「優先回答クイズ」である。「必須回答クイズ」というのは、両グループとも回答しなければならないクイズであり、正しく回答している方は 5 点をプラスし、両グループとも正しく回答したら、両グループとも 5 点の点数をプラスする。「優先回答クイズ」というのは、両グループの中に、先に手を上げたグループの方が回答する優先権利を持っている。5 秒以内に、正しく回答したら、10 点をプラスするが、間違えたら、5 点をマイナスする。すべてのクイズが回答し終わったら、総点数をまとめ、点数が高いほうが優勝グループになる。

授業の流れとしては、まず 10 人の参加者を二つのグループに分ける。また、罰の方法を決めるため、「もし自分のグループが勝ったら、相手のグループにどのような罰をしたいと思いますか」ということについて両グループのメンバーに書いてもらう。ゲームのルールを説明して、理解してもらった後に、ゲームに入る。

授業の流れはあまり複雑ではないし、授業の内容もあまり多くないため、授業は計画通

りに進んだ。授業の雰囲気から見ると、当初設定した目標に達成したといえよう。参加者の皆さんは楽しくクイズに答え、最後に、負けたグループが「お尻で自分の名前を書く」という韓国式の罰を受けながら、授業が終わった。

4. 自己評価と学習者評価

今回の授業は準備の時間が少ないため、内容的にはまだ充実ではないが、リラックスな授業の雰囲気を作り、学習者が日本歴史に対する興味を引き起こすことができたという点が多く評価されていることがわかった。

5. おわりに

今回のような日本事情の授業を担当するのが初めてなので、授業の内容や流れの設定などにはまだ足りないところがあるが、自分にとって、貴重な経験になったと思っている。これから、チャンスがあれば、また参加させていただきたいと考えている。

最新の話題に対する興味

原山有希、張松儀

担当日：8月9日

時間：13:00-14:30

授業テーマ：日本事情「日本の最近の話題」

目標：日本の最新の話題について知る。

使用教材：PPT, 参考資料「政治・経済（政経018）」（山川出版）

1. はじめに

個々で行う自主活動を約10日間行う間、日本人と触れ合うことが多いと思われるため、会話を弾ませる話題提供をしたいと考えた。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

全員が日本語教師を目指しており過去に留学経験もあったため、ここ数ヶ月の間で話題として取り上げられた日本社会テーマを設定した。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

全体スケジュールは、講義40分、ディスカッション40分、まとめ10分である。ここ最近話題になっているテーマを取り上げた。講義内容は、九州に大きな被害を及ぼした梅雨、東京電力福島第一原子力発電所の事故からの原子力発電に対する意識変化やクリーンエネルギーの紹介を交えたエネルギー問題、道州制の紹介、少子高齢化の一環として現代の結婚に関する活動について紹介した。その後、資料を見ながら時勢の話題でディスカッションを行った。

4. 自己評価と学習者評価

講義の振り返りには、韓国の最新の事情を交えながら日本語で会話できた、エネルギー問題に日本人が自覚を持っていることが分かった、道州制はニュースで聞いたことはあったが内容に触れたことが今までなくて気になっていたことに触れてくれた、90分が短く感じた等のコメントがあり、最新の話題にかなり関心を持っていることが分かった。

5. おわりに

最近の話題を取り上げたため自分自身の知識不足があったことや、一つの話題に絞ると興味に当たり外れがあるかもしれないとの不安からダイジェストでいくつかの話題を紹介したが一つ一つを長い時間をかけてしてほしいとの要望があったので次回の反省としたい。

海外から日本へ来た子ども

相原幹子

担当日：2012年8月9日

時間：14：50－16：20

授業テーマ：海外から日本へ来た子ども

目標：子どもの日本語教育について考える

使用教材：生教材

1. はじめに

今回、子どもについて考える機会とした。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

学習者は将来子どもたちにも日本語を教える可能性、また韓国以外の国で働くなら自分の子どもを連れていく可能性があると考えた。また、子どものときに外国語として日本語教育を受けた経験がある学習者がいたため、このテーマを設定した。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

1. 海外から福岡市にやってきた子どもたちについての文章を読み、意見交換をした。
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/9779/1/080701-01.pdf>
2. 将来自分が海外で働くと仮定し、子どもの教育をどうするかについて考えた。
3. かつて「海外から日本へ来た子ども」だった学習者の話を聞いた。

4. 自己評価と学習者評価

福岡市の学校で学ぶ海外から来た子どもの話は留学生の家族が多いと考えられたため、状況が違う日系人の子どもの話についても読んだ。

http://mytown.asahi.com/gifu/news.php?k_id=22000551206110001

しかし、背景がわからないと理解しにくく、学習者以外の参加者から日系人についての説明をしてもらった。

かつて「海外から日本へ来た子ども」だった学習者の話には興味を持っている様子が見られ、積極的に質問も出ていた。

5. おわりに

今回のテーマには、興味を持ちやすいものであり、報告者が細かい準備をしておけば、もっと話しやすかっただろう。なお、報告者は現在子どもの日本語教育にかかわっている。

「田舎」から見る日本社会

原山有希、張曉蘭

担当日：8月11日

時間：13:00-14:30

授業テーマ：日本事情「九州の地方産業」

目標：九州を事例に「地域ブランド」について学ぶ。

「田舎」でなく、「地域」としての知識を付け理解を深める。

使用教材：PPT, 参考資料「政治・経済（政経018）」（山川出版）

1. はじめに

伊都キャンパスが福岡市内から少し離れた自然豊かな場所にあるが、地域を活性化するための様々な取り組みが行われていることを知り、毎日通う自然の景色も違った見え方ができればと考えた。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

韓国から見ると「田舎」という感覚に日本の「地域」という感覚が薄いため、日本の各地域で行っている取り組みに興味を持つと思い、「地域ブランド」をテーマに選択した。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

全体スケジュールは講義40分、ディスカッション30分、まとめ10分である。地産地消からの地域づくりの取り組みについて糸島市にある「伊都彩菜」を例にとり紹介した。また、地域ブランドの法律についても黒川温泉などを例に取り紹介し、また「ゆるキャラ」について紹介した。ディスカッションについては第二言語習得について行った。

4. 自己評価と学習者評価

地域をブランド化する点や、ゆるキャラがなぜできたのかという点が印象深かったとの意見が多かった。地産地消についてはぜひ韓国で日本語教育に生かしたいというコメントがあった。ディスカッションについては第二言語習得のふりかえりをする機会になったという意見があった。

5. おわりに

韓国でもちょっとしたニュースで話題になったり、街中でみかけるキャラクターについて、社会背景を合わせて学ぶと日本社会に対して深い理解を得るのではないかと思われた。今後の教案作成にぜひ生かしたいと考える。

中・上級の授業のありかた 文学作品を通して

藤野謙一 ディヌーシャ・ランブクピティヤ ダルシャニ・ジャヤセカラ

担当日：8月20日

時間：13:00～16:00

授業テーマ：中・上級の授業について

目標：文学作品を通して異文化交流する 中・上級の授業のあり方について議論する

使用教材：星新一『健康な犬』

1. はじめに

お互いに日本語教師を目指す者として、文学作品を取り上げた授業を体験し、その後それを批評し、中・上級の授業のあり方について考えるきっかけにしたい。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

中・上級の授業では文学的な作品を取り上げられることがあるが、それが必ずしも語学力の向上に適しているとは限らず、どのような作品、またその作品の活用の仕方が中・上級の授業に適しているのか、互いに議論したいと考えた。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

A4一枚程度の短編作品、星新一『健康な犬』を取り上げた。まず全文を筆者が読み、音で理解させるようにした。その後本文を配布して、全員で分担して本文を読みながら、話から言葉を互いに教え合いながら内容を確認した。本文の最後の50文字は敢えて隠しどのような文になるか、各個人で考えて書いてもらった。その後2、3人のグループに分かれて互いの50文字を見せ合い、グループごとに1つの50文字を作る作業をさせた。

4. 自己評価と学習者評価

文学作品を単に内容を確認するために読むだけでなく、文章の最後を考えさせることは概ね楽しくやることができたという感想を得た。文学作品、小説の扱い方については、あくまでも語学力向上に力点を置くのであれば、漢語の量・表現の難易度など十分に考慮すべきであるとの意見を得ることができた。

5. おわりに

文学作品・小説を授業で取り上げる際にも単なる読解の授業として扱うのではなく、4技能を統合的に使用するような授業を目指すことが中・上級の授業では重要ではないかと改めて感じる事ができた。

就職活動タスクへの導入の試み

原山有希

担当日：8月21日

時間：13:00-14:30

授業テーマ：日本事情「日本の中小企業と就職」

目標：日本の「中小企業」について学ぶ。日本の就職活動について知る。

使用教材：PPT, 参考資料「政治・経済（政経018）」（山川出版）

1. はじめに

海外で働く現地の日本語教師の中には、日本で働いたことがないとコンプレックスを抱く教師もいる。そこで仕事を始めるまでの過程を疑似体験してもらいたいと考えた。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

日本と韓国の産業がとても似ているため、日本の中小企業に対する感覚が韓国と同じだと思いがちである。その違いを知る講義だけではつまらない講義になると考えたため、コンテキスト化した学習取り組みの模索が行われている留学生の就職活動タスクと組み合わせる試みを行った。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

クラススケジュールは、講義40分、タスク活動40分、全体まとめ10分である。日本の大学生の中小企業への就職希望増加という意識変化から日本の中小企業へ導入を行い、日本の産業構造について簡単に解説を行った。その後、留学生の就職先が中小企業に多いこと、日本での就職活動の紹介を講義形式で行った。タスク作業として実際にSPI試験を数問解き、大学生が実際に使用する履歴書を使って実際に自己紹介の作成を行った。

4. 自己評価と学習者評価

履歴書の作成時間は30分とっていた所、余裕を持って早く終わらせた学生もいたが、自分自身のことをゆっくり考えて正しい日本語で書きたいという要望した学生が殆どであった。また日本での就職に少なからず興味があったようで就職活動の過程やSPI試験の体験は「役に立つ」というコメントが多くあった。

5. おわりに

タスク作業に関する時間の余裕や配慮が必要だと思われた。また履歴書そのものの書き方をレクチャーする必要があることが反省点である。

みんなで地域日本語教室を楽しむ

天野裕子、ダルシャニ・ジャヤセカラ、ディヌーシャ・ランブクピティヤ

担当日	: 8月22日
時間	: 10時—12時
授業テーマ	: 地域日本語教室の見学
目標	: 日本で行う日本語教育現場を経験すること
使用教材	: 特になし

1. はじめに

今回ショートステイプログラムに参加した韓国プギョン大学の学生と大学院生を福岡県糸島市で運営されている地域日本語教室「日本語ひろばいとしま」を見学してもらった。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

ショートステイの参加者は日本語教育を専攻しているため、日本で行われる日本語教育現場を体験することが重要だと考えた。そのため、地域日本語教室の実状と運営方法を見学させた。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

ショートステイの参加者にボランティア教師が授業を行っている各グループに自由に入ってもらい、見学してもらった。ショートステイの参加者は見学したいグループに自由に入って、授業を行う側と受ける側の立場になり、授業に参加したり授業を見学したりした。最後に、参加者に教師方のみで行うその日の反省を含むスタッフミーティングにも参加してもらい、見学に対するコメントと意見、そして疑問点を述べてもらった。

4. 自己評価と学習者評価

「地域日本語教室では、様々な目的で来日している外国人の必要性に応じてきめ細かな日本語学習指導を行っていることに驚いた」、「日本語を教えるために色々な教育方法があると実感できた」等、参加者からのコメントがあったため、地域日本語教室による日本語教育について触れることができたと感じた。

5. おわりに

地域日本語教育をとおして、日本語教育は何をどのように目指すべきかということについて感じさせることができた点はよかったが、短い時間だったため、地域日本語教育における問題点や今後の課題等について触れることができなかった。

ボランティア日本語教室で参加者が授業を見学している様子



みんなで浴衣を楽しむ

天野祐子、ダルシャニ・ジャヤセーカラ、デヌーシャ・ランブクピティヤ

担当日	: 8月22日
時間	: 13時～16時
授業テーマ	: 日本文化理解
目標	: 浴衣着付け体験を通しての日本文化理解
使用教材	: なし

1. はじめに

今回、午前中の地域日本語教室の見学に引き続き、午後からプギョン大学生・院生5名全員に浴衣の着付けと写真撮影を行った。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

日本語教師として日本語のみならずその背景となる日本文化を体験してもらうために浴衣の着付けを選んだ。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

浴衣着付けにあたって全員で会場作りから実施した。具体的には場所が多目的室であったために、畳を敷いたり、姿見の鏡を借りて来てセットしたりすることから始める共同作業でした。次に、事前に依頼していた着付けの先生による指導で各人が浴衣の着付けと帯の結び方を学び、最後にプロのカメラマンによる浴衣姿の写真撮影をおこなった。

4. 自己評価と学習者評価

言語はその人の属する社会の文化的背景からなりたっているもので、日本の着物文化の体験は今後の日本語教育に少なからず役立つものと推察される。

5. おわりに

おわりに、不足点として1. 浴衣の由来 2. 着物の由来 3. 浴衣と着物の違い 4. 浴衣の着方と帯の結び方のポイント、などについて説明する教材が事前に準備できなかったことをあげておき、今後の「異文化理解」教育に反映したいと思う。

浴衣の着付け教室で参加者が浴衣の着方を教えてもらっている様子



浴衣を着たプギョン大の学生と九大の参加者



日本事情における就職活動支援の試み

原山有希

担当日：8月23日

時間：13:00-15:00

授業テーマ：日本事情「日本の就活事情」

目標：日本での留学生の就職活動について、日本企業が求める留学生の能力について知る。

使用教材：履歴書、評価シート、内省シート、PPT

1. はじめに

現在日本企業に日本国内の留学生だけでなく、海外からエントリーをしている状況がある。そのような場合でも日本人と全く同様の就職活動をしなければならないという。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

日本で働くためにはどうしたらいいか、その課程を経験することで、日本企業が求める留学生の能力について考え、一方で日本語教師として日本語学習者に対しどのようなアドバイスをするか検討する。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

講義全体の時間配分は、個人面接 50 分、集団面接 40 分、内省 20 分、講義 10 分である。まず始めに 8 月 21 日に行った講義で作成した履歴書を使い、個人面接及び集団面接を行った。面接の評価は評価シートを使用し参加者全員で行った。集団面接は実際に体験することに重きをおき、個々人の面談そのものの評価は行わなかった。面接終了後、内省シートを記入し全体共有を行った。最後に企業が留学生に求める能力についての講義を行った。

4. 自己評価と学習者評価

学習者の本人評価として、面接では「自己分析がきちんと行えてないと自分の事を表現するのは難しい」「何を言っているのかわからなくなった」等の自己評価があり「日本語を勉強しなくてはならない」という語学力への評価は見られず、逆に意外と話せたという自信につながったようであった。また、楽な気持ちで受ける楽しい講義ではなかったが、自分自身の役にたったという意見が目立った。

5. おわりに

個人面接、集団面接そのものを体験することができた喜びもあったが、一方で学生としての就職に関する悩みの部分に触れたようでかなり真剣な様子が伺えた。時間が足りなく自分自身が日本語教師としてどうアドバイスできるかまでを考える時間を設けることができなかったので今後の課題としたい。

文化交流

藤野謙一、ディヌーシャ・ランブクピティヤ、ダルシャニ・ジャヤセカラ

担当日	: 8月24日
時間	: 13時—16時
授業テーマ	: 文化交流
目標	: 様々な文化に触れることによって多文化、異文化理解、異文化コミュニケーション、そしてそれらの重要性について理解し、意識すること
使用教材	: ビデオクリップ、記入シート

1. はじめに

ショートビジットプログラムの参加者に「異文化理解と異文化コミュニケーション」をテーマにした授業を行った。

2. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

グローバル化の中で他文化や他言語を持つ人同士の交流が多くなり、異文化コミュニケーションも重要であるが、母文化に基づいた思考は他文化や他言語を持つ人とのコミュニケーションに摩擦を起こしてしまう。「多文化共生」と「異文化理解」は日本語教育現場でも重要な課題である。そのため、本授業では「異文化理解」と「異文化コミュニケーション」について意識し、それらの重要性を理解してもらうことが目的だった。

3. 教案（授業予定）・授業の展開について

授業の前半では、スリランカ人と韓国人大学生の各国における若者の大学生活について発表を行ってもらい、後半では、記入シートのキーワードを取り上げつつ、個人、ペア、クラス全体という順で話し合った。そして、各内容についてビデオクリップをもとにまとめを行った。最後に授業内容や行い方についての反省会を行った。

4. 自己評価と学習者評価

「何を表しているかわからないまま良く聞いていた異文化理解や異文化コミュニケーションについて学べてよかった」というコメントから、授業の最終目標に達することができたと感じたが、『異文化』とは誤解を招く言葉だ」という指摘も受け、今後授業のテーマを考える際に重要な指摘であるため参考にしたい。

5. おわりに

今回の授業では、異文化理解・コミュニケーションについて触れる段階に留まり、研究論文等を取り上げ、その内容を踏み込んだ話はできなかった。

以下では①～④までの資料を提示します。

- ① 授業内容を考える際に参考にした資料
- ② 授業の計画書と教案
- ③ 授業に使用した教材
- ④ 授業の風景を撮影した写真

①授業内容を考える際に参考にした資料

- i. You Tube (<http://www.youtube.com/watch?v=tcPNcb7R0g8>) 『3分でわかる「異文化適応のW曲線」』
- ii. 細川英雄 (2002) 『日本語教育は何をめざすか—言語文化活動の理論と実践』 明石書店
- iii. 高井道博、倉地暁美 (編) (2006) 『講座・日本語教育 第5巻 他文化間の教育と近接領域』 スリーエーネットワーク

②授業の計画書と教案

I. 授業の計画書

1. 授業のテーマ：**異文化、異文化理解、異文化コミュニケーション**

2. 対象者：韓国プギョン大学の学部生、大学院生計5名、九大の院生（日本人、中国人、ベトナム人、スリランカ人）

3. 場所：比較社会文化棟4階の第8講義室

4. 日時：8/24/2012 午後13時～16時

5. 授業の目的

- ① 互いの文化的な相違点に気づくこと
- ② 互いの理解を深めること

→ 多文化に触れること

☞ 異文化、異文化理解、異文化コミュニケーションとは何かということについて意識すること

6. 授業の形式：発表、質疑応答、ディスカッション

7. 授業の内容：

前半

① 各国の留学生が以上のテーマで発表をする

プギョン大学生5名・・・15分	中国人留学生・・・05分
質疑応答・・・10分	質疑応答・・・10分
ベトナム人留学生・・・05分	スリランカ人留学生・・・10分
質疑応答・・・10分	質疑応答・・・10分

発表内容のまとめ・・・05分

後半

- ② 異文化についての用紙記入、発表、経験談、ペア/クラス全体でのディスカッション
- ③ 全体のまとめ
- ④ 意見交換（本日の授業内容と、授業の行い方について）

8. 授業担当者：藤野、ダルシャニー、ディヌーシャ

II. 授業の教案

時間	授業内容	教材
5分	ウォーミングアップ	
	本日の授業についての説明（テーマ、流れ、内容、目的、形式等）	
45分	Lの発表と、質疑応答（スリランカ人、中国人、ベトナム人、韓国人）	マルチメディア
5分	休憩	
8分	『異文化とは・・・』相談：個人→ペア→クラス全体→Tのまとめ	ホワイトボード、マーカー、記入シート
5分	Tによる異文化コミュニケーションの失敗例を語る 韓国人の経験	
6分	『異文化理解とは・・・』相談：個人→ペア→クラス全体→Tのまとめ	記入シート
8分	『異文化コミュニケーションとは・・・』 相談：個人→ペア→クラス全体→Tのまとめ→ビデオ	記入シート、マルチメディア
8分	『異文化コミュニケーションの必要性』 相談：個人→ペア→クラス全体→Tのまとめ→ビデオ	記入シート、マルチメディア
8分	『異文化コミュニケーション問題の解決法』 相談：個人→ペア→クラス全体→Tのまとめ→ビデオ	記入シート、マルチメディア
	授業のまとめ	マルチメディア
	意見交換	（お茶会を伴う）

③ 授業に使用した教材

- i. http://www.youtube.com/watch?v=-29hiwlr_P8 WAO 高校生講座「異文化コミュニケーション論」
- ii. <http://www.youtube.com/watch?v=LRnuh-SdpVQ&feature=relmfu> WAO 高校生講座「異文化コミュニケーション論」
- iii. スリランカの大学生の大学生活についてのビデオ
www.colombogazette.com と http://www.youtube.com/watch?v=_mxk54mzRy8 から
- iv. 記入シート

氏名 _____
異文化、異文化理解、異文化コミュニケーション
① 異文化とは、

② 異文化理解とは、

③ 異文化コミュニケーションとは、

④ 異文化コミュニケーションの必要性／利点

⑤ 異文化コミュニケーションを行う際の課題

⑥ 異文化コミュニケーション問題の解決方法

<授業内容の記入シート>

氏名

1. 今日の授業のテーマ

2. 印象深かった内容や活動について書いてください。

3. その理由や感想

4. その他

<授業の評価シート> あてはまる所に○をつけてください。

①授業の内容は興味や関心を引くものでしたか？

とても良かった ・ 良かった ・ まあまあ ・ あまり良くなかった ・ 悪かった

②到達目標の内容が身につきましたか？

とても身についた ・ 身についた ・ まあまあ ・ あまり身につかなかった ・ 全く身につかなかった

③授業の内容は理解できましたか？

よく理解できた ・ 理解できた ・ まあまあ ・ 少し難しかった ・ 難しかった

④説明の仕方はわかりやすかったですか？

とても良かった ・ 良かった ・ まあまあ ・ あまり良くなかった ・ 悪かった

⑤授業の流れはどうでしたか。

とても良かった ・ 良かった ・ まあまあ ・ あまり良くなかった ・ 悪かった

⑥授業の行い方はどうでしたか。

とても良かった ・ 良かった ・ まあまあ ・ あまり良くなかった ・ 悪かった

⑦その他 自由に記載～。(何かあれば、なんでもかまいません。)

④ 授業の風景



福岡新発見

ダルシャニー、天野裕子

担当日：8月27日
時間：8:30-13:30
授業テーマ：博多街歩き
目標：福岡の歴史や文化について知る
使用教材：特になし

1. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

単なる観光地ではなく、日本人、特に福岡の人間の生活や歴史、文化などについて知ってほしいと思いこのテーマを設定した。

2. 授業の展開について

祇園周辺の寺・神社・文化施設を歩いて訪問した。今回訪れたのは、東長寺、聖福寺、櫛田神社、博多町屋ふるさと館で、最後にキャナルシティで昼食を取り解散した。

- ・東長寺→木造最大の仏像や地獄めぐりなど、日本の仏教の考え方やお参りの方法について知ることができた。
- ・聖福寺→朝鮮から梵鐘が贈られた場所であり、中国のお茶が最初に入ってきた場所でもある。日本とアジアとの交流の歴史に触れた。
- ・櫛田神社→「博多山笠」と縁の深い場所。「山笠」の決まりごとや日本の神道について知ることができた。
- ・博多町屋ふるさと館→明治以降の福岡の人々の生活や文化について知ることができた。また博多織の職人の仕事も見学した。

3. 自己評価と学習者評価

寺と神社の由来などを簡単に説明していったが、それよりも学習者にとって印象に残ったことは「寺と神社の違い」だった。当然分かっているものだと思って進めていたが、FBシートにはほとんど全員がこのことを書いていた。事前に宗教などについて知ってもらう時間を設けるか、当日の説明を準備しておく必要があったと思う。

4. おわりに

学習者にとって日本や福岡のことを体験し知ってもらう機会になったと同時に、こちらにとっては外国人が何を知らないのか、何を知りたいのかを知るよい機会になった。



「外」の日本語教育を知る

笹村 はるか

担当日：2012年8月28日（火）

時間：90分

授業テーマ：海外日本語教育事情

目標：韓国以外の国での日本語教育、多様な授業形式を知る

使用教材：PPT

1. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

韓国以外の国での日本語教育の現状についても知ってほしいと思いこのテーマにした。韓国で受けた日本語教育が全てではなく、世界には様々な目的を持った学習者があり、教育機関があり、教師による多様な形式の授業が行われている。「外」を知ることにより、今後日本語教師になった時の活動のヒントになればと思った。

2. 授業の展開について

大きく三部に分けた構成で授業を展開した。

①海外日本語教育の概要説明

国際交流基金の調査結果を参考に、学習者・機関・教師について地域別、教育段階別の現状をクイズ形式で説明した。

②海外での日本語教育活動

中国、ミャンマーでの活動を例に、写真を使いながら紹介した。

③母語話者教師・非母語話者教師についてのディスカッション

学習者の立場から、教師の立場からグループディスカッションを行った。

3. 学習者の反応

韓国以外での日本語教育や、母語話者教師・非母語話者教師の協働について考えたことがなかったという感想があった。母語話者教師と非母語話者教師の協働については否定的な意見も出るなど、グループディスカッションでもよく意見を出し合っていた。

4. おわりに

日本語教師を目指す韓国人学生との交流は、自分自身の研究対象が海外日本語教育機関であるため非常に興味深かった。彼らがどのような日本語教育を受け、授業や教師に対してどのようなビリーフを持っているのかを窺い知れたことは、日本語教師としての自分にとって良い刺激になった。

学習者の目標とは

天野 裕子

担当日：8月29日

時間：13:00-14:30

授業テーマ：can do statements

目標：can do statements について知り、学習者の目標を考える。

使用教材：ppt

1. 授業のねらいと本テーマを設定した理由

プログラムを通して、学習者は様々な日本語学習者がいることを認識できたはずである。今回はそのまとめとして、can do statements を使用して目標とする日本語をアレンジしてもらい、多様な日本語教育について更に一緒に考えてみたいと考えた。

2. 教案（授業予定）・授業の展開について

①can do statements についての知識を導入

自分の語学の能力をどのように表現すれば相手に伝わるのかを考えてもらった後に、現 JLPT と旧 JLPT のレベルの記述の仕方を比較し、JL スタンドアードについて説明した。

②can do statements を使う

初級レベルで短期間のみ趣味で日本語を習う学習者と留学生の家族として日本で生活することになった学習者では、どのように目標とする日本語が異なるのか。「趣味で学ぶ学習者」グループと「日本で生活する学習者」グループに分かれ、どの項目が必要かを考えてもらった後にそれをシェアし、比較した。

3. 自己評価と学習者評価

学習者の多くは can do statements について知らなかったため、とても興味深かったという評価を得た。グループワークではどのような場面で日本語が必要かを考え、項目を吟味していた。講義の部分では can do statements の実際の使用例なども紹介したかった。

4. おわりに

学習者の一人に、プギョン大学で can do statements を使用して韓国の大学の日本語教育のシステムを変えようとする計画があるということを知った。can do statements は様々な場所でその使用方法が考えられている段階であるが、その1つを知ってとても勉強になった。今回考えたことを、今後日本語の教育者として、日本語または他の外国語の学習者として役立ててほしいと思う。

四、参加者の感想

井の中から出た蛙

- 九州大学のショートステイプログラム参加手記 -

プギョン大 学校 イエラン

日本語に興味を持って勉強していたから、日本に興味を持っていろいろなことが知りたくなっていたから日本への留学は私の夢でした。

言語の勉強も含め私が好きな日本のドラマや映画、芝居、舞台などの日本で見られないエンターテインメントや落語、漫才、浮世絵、着物などの日本の独特な芸術文化、和食、てんぷら、寿司、丼、ラーメンなどの日本の料理、お盆祭り、花火などの日本の祭りなど、本だけで勉強したらよく頭に入れない、その文化の中で住んでいることで学べる、身につけることがあると思って大学に入る前から日本語を勉強している私にとって留学は必要だと考えました。それで、大学に入ってから留学を準備しました。しかし、私が留学を行こうと思ったら個人的な問題が発生したり、学校の単位に問題が起きたり、地震が起きたりして、行きたくも行かれませんでした。とどのつまり、就職活動をしなければならない3年生、4年生になって留学は諦めることになりました。

留学は容易に行けられませんでした。運がよくて大学4年間、学校でしている日本と関わっている多様なプログラムに参加することが出来ました。それで、旅行や観光もしましたが、ただの観光客ではなく祭りのボランティアや参加者、ほかにはホームステイの参加者、企業の見学生として日本のいろいろな所々を見る経験をしてきましたし、そのおかげで旅行では楽に学べないことの多くを学ぶことが出来たと考えました。それで、ちょっと惜しいでしたけど留学を思い立つのが出来たと自分なりに考えました。

諦めて、資格やTOEICなど就職活動のためにいろいろなことを勉強をしているとき今回のプログラムの参加者を募集案を読みました。大学の最後の夏休み、就職活動に一番重要な時期、まだ、しなければならないことがたくさんあるのに、思いとどまったと考えたのに、募集案を見た瞬間、心が動き始めました。

行くか、行かないか。今の私にとって一ヶ月という時間はとても重要であり短い時間でもないし、8月の最初の日から最後の日までですから帰ったらすぐ新学期が始まって他の準備もしなくて就職活動をするようになるから数日間、悩んでまた悩みました。

そして、思い立ったと言っても子供の時から見た夢がそんなに易く諦めることでもない。募集の最後の日、私はこのプログラムの参加の志願書を提出

しました。日本は何回も行ったことがあります、留学として行くのは初め、期待感と一緒に緊張感を持って到着しました。

初授業、ショックを受けました。

大学で今まで4年間、日本語を勉強しているから聞き取りにはあまり無理がなかったと思いましたが、授業のテーマや授業のやり方、参加した学生たちと担当の先生の思考方式などが韓国では経験できないことだったからでした。

私は日本のドラマや舞台、小説など日本の情緒が盛られているストーリーがあるものが好きで日本語の勉強を始めたのです。それで、大学に入って日本語の能力試験みたいな資格のための文法、単語、読解などの勉強も含め、日本の近代小説、近現代の詩、歌舞伎、能、落語などの文学の授業も受けましたし、自分なりにもいろいろな内容のドラマを見たり本を読んだりしながら勉強しました。その他にも、経営や経済などに興味があって多様な授業も受けたり本や新聞、ニュースなどを読んだり、見たりしているから自分の中でただ、日本語の言語だけ勉強していた学生に比べたらもっと知ってることが多いし、どんな授業を受けても大丈夫と思いました。

しかし、九州大学に来て、日本への看護分野を始まりに死刑についてのディベート、最近の日本の話題や地理、日本へ住んでいる外国の子供、実際に行っている日本語教室見学、日本の宗教、日本の教育まで先生の説明を聞いて皆の意見を交換する、いい意味での襲撃の連続でした。井の中の蛙が大海を味わう瞬間でした。

何も知らなかつたくせに私、自身は何でも知っているよと考えていた自分が恥ずかしかったし、何も知っていない自分自身について悔しかったです。日本語で話をする会話を含め、今回のプログラムで話したり意見を交換した多様なテーマについてもその他の国内と国外の情勢や国際社会の多様な流れなどについてももっと知りたくなりましたし、もっと勉強したくなりました。しかのみならず、もし可能であればもうちょっと長く日本で留学したり、生活したいと思いました。

今、新学期が始まって忙しい毎日を過ごしています。友達や他の学生と比べてみると資格も取られなかったし、TOEICなどの英語の試験の点数も取られなかったから、ちょっと空恐ろしくなりますし、他の人より2倍3倍の努力が必要だと考えます。

それかといって今回の8月、一ヶ月間のプログラムの参加を後悔しません。就職活動に必要な資格などは取られなかったけど私の頭や心が成長する本当に良い時間でした。このプログラムに参加して本当に良かったと私の大学4年の中で一番いい経験をする、勉強になる時間でしたと思っています。

長いようで短かった九州大学での1ヶ月

ブギョン イヘミン
釜慶大学4年生 李惠民

タイトルのとおり、私の九州大学での生活は長いようで短いような1ヶ月でした。私の専攻は日本語なので、できれば将来、日本語の先生になりたいと思っています。このプログラムを知ったとき、プログラムに参加すれば、韓国では勉強できないことや日本の現場での教育などについて知ることができるのではないかと思い、申請しました。

最初は「日本語教育者養成プログラム」ということで、日本語の実力がまだまだ足りない私が、日本語教育に関することについて、果たしてやっていけるだろうかという思いがあり、正直不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、教育実習のように自分が実際に教えたり、授業をしたりするというものではありませんでした。逆に、九州大学のいろいろな国々の方々に様々な形で授業していただけるという貴重な機会を得ることができました。このプログラムは、一般的な日本語の授業を受けるのではなく、PPTを活用した授業を受けたり、実際に神社巡りをするなど、授業担当者それぞれの方法で授業を行った後、みんなで一緒に意見を出し合ったりしました。そのおかげで、韓国だけではなく、日本やスリランカ、中国などの方々の意見を聞く良い機会となり、いろいろな国々の考え方を知ることができました。いろいろな国々の異なる教育方法や方針などを知ることができ、お互い意見交換することで、自分の教育スタイルの長所と短所が分かりました。まだ教育経験のない私にとって、これからの教育について考えてみる良い機会となったので、本当に役に立ちました。

次に、私はこのプログラムに参加する以前に、長崎大学で交換留学生として留学した経験があり、もともと留学と国際理解への意欲はかなり強かったのですが、長崎留学の時とは学習、国際理解への意欲がまた違う形で強くなりました。長崎に留学していた時は、留学期間が半年と短く、勉強しようという意欲よりも日本での生活や文化、友達や日本の大学など日本での生活それ自体に興味があり、それを楽しもうという意欲がありました。日本語を勉強するというよりも友達と遊んだり、話したりすることが私にとってはいい勉強だと思い、楽しみながら日本文化や日本人を理解し、若者言葉など韓国ではなかなか学ぶことのできないものにまで触れることができました。

しかし、このプログラムに参加した後、ただ単に文化の違いというテーマだけではなく、教育対象や方法、方針などについて興味を持つようになりました。今までの私は自分の日本語実力を高めるための勉強ばかりして来たと思います。それが、長崎留学において日韓の文化の違いなどを知ることができ、今回のプログラムに参加したことで教育についても考えるようになり、学習と教育への意欲も高まりました。また、教育はどうすればいいのか、何を考えなければならないのかという疑問を持つに至りました。一度も考えたことがないことについて、みんなでお互いの意見を出し合いながら考えてみたりすることで、自分の教育への考え方、方法などを考えてみる良い機会になりました。

また、このプログラムに参加した後、韓国と日本での日本語教育ではなく、他の外国の学習者に対する教育についても考えることになりました。今までは日本語教育、教師というと漠然に韓国の日本語教師しか思い浮かばなかったのですが、このプログラムで他の国でも日本語を勉強している学習者が数多くいることを実感することができ、その学習者を教える日本語教師がいることにも興味が湧きました。実際に九州大学の方々の中には、外国で教授経験のある方もいらっしゃったので、韓国では聞いたこともない話をたくさん聞くことができました。そのような話を聞いて、本当に教育というのは教育対象、環境などいろいろなことを考えなければならないものだと感じました。そして、このプログラムの人たちだけ見ても、韓国や日本、スリランカや中国などいろいろな国の人が出て、1ヶ月間ずっと様々な国の人たちと一緒に勉強してみると、新しい発見がたくさんあり、本当に楽しかったです。韓国ではなく、外国で日本語の教師になるのも素敵なことだと思うと、今度は日本以外の国へ留学したいという意欲も湧いてきました。中国やスリランカなど、日本や韓国とはまた違った国、異なった環境で日本語教師になったらどうなるだろうと想像したりもしました。できれば、海外で日本語の教育も受けてみたいし、実際に教えてみたいとも思いました。

最後に、このプログラムと九州大学のみなさんのおかげで本当にかげがえのない経験をさせていただきました。日本語の実力も教育についての考えもまだ足りない私にこのような機会をくださって本当にありがとうございます。まだ教育者としては未熟ですが、学生という立場から意見を出すことで、今後も先生方や学生のみなさんとよりよい話し合いができればと思います。1ヶ月の長いようで短かった九州大学での生活を楽しく過ごすことができ、本当によかったです。そして、またひとつ忘れられない思い出ができました。教育は理論の勉強だけではなく、いろいろな経験からも学ぶことができるということをわかりやすく教えてくださった方々にもう一度心より感謝いたします。この貴重な経験を活かしながら、立派な日本語教育者になれるようこれからも頑張っていこうと思います。

学習成果に関するレポート

ジョン ユジン

鄭 有珍

私はブサンにある釜慶大学校の日語日文学部で教職を受けています。日本語に興味があるし、将来に高校の日本語教師になりたい私は九州大学の日本語教育者養成プログラムの参加者募集のお知らせを見て、教師を準備する私にとってすごくいい機会だと思って参加するようになりました。

「日本語教育者養成」というプログラムのタイトルを見た時は韓国での教職の授業のように教育学の授業、または教育方法など固い授業を想像して来ました。プログラムに参加してオリエンテーションを聞いた時、いろいろなテーマで分かれていたから以外だと思って、すごく気になりました。授業を始めて受けに行ったら全然考えてなかったし、一度も経験したことがなかった授業だったから驚きました。九州大学院生があるテーマを中心に授業をして、私たちがあのテーマについて一緒に考えてみて自分の意見を自由に話す授業でした。普通韓国の大学の授業は受動的な授業がほとんどで、なかなか自分の意見を言える機会が少ないです。そのような授業になれていた私は初めの授業を受けて、これから一ヶ月間うまくやっていけるかすごく心配になりました。プログラムが始まったばかりの時は、意見を聞かせてもらったら早く返事がでなくてぐずぐずしたり、頭の中で自分の意見がちゃんとまとめられないし、意見を言う時も今自分が正しい日本語で話しているのか、意見を論理的に言ってるのかなど自分が何を言ってるかを全然知らなくなる状態でした。それでなぜか毎日の授業が少し負担になりました。しかしこのような心配はすぐなくなりました。毎日繰り返す授業と、面白いテーマで自分の意見を言うことが恥ずかしくなくなって、緊張もしないようになりました。それであるテーマについて頭のなかでただ流れることではなく、深く考えてみる養われました。私は人々の前で話すことがすごく苦手だったからこのような短所をなおしたことにすごく満足しています。

それで私がすごくよかったと思ったことがいろいろな経験ができたということです。日本語教育者養成プログラムといってもただ日本語教育の授業だけではなく、毎日変わる授業のテーマとさまざまなプログラムに参加するスケジュールは私たちが毎日興味を持って楽しみながら授業を受けるようにして、全然つまらなくなかったしすごく楽しかったです。特に今も記憶に残っている三日間のディベート講義と大会、模擬面接はとても印象的でした。日本語でディベートなんて、ありえないと思った私も挑戦して堂々と大会に参加しました。それで、模擬だったが日本人面接官の前で面接を受けて、自分の進路を考えてみられた時間でした。準備する時は少し難しかったからこまりましたが韓国ではしにくい大切な経験をしてすごくうれしいです。それで教室にも見学しにったり、屋台・浴衣体験、福岡の神座と寺見学などいろいろな経験ができて思い出も知識もいっぱい持ってこられました。いろいろ気にしてくれて準備してくれた先生と大学院生ののにありがたいとおもいます。

最後の発表会の時はどんなテーマをしたらいいのか、どういうふうにしたらいいのかすごく悩みました。私たちはまだ発表も上手ではなくて、テーマもあまり偉いことではなかったから発表会の当日には少し恥ずかしかったですが、友達と一緒に発表の準備をしながらいろいろな意見をだしたり、話し合ってみたりする時間を持ったことが何よりも大切に感じられました。最後の発表はけっこう緊張しましたが、しかし無事に終わったあとはとても良かったです。

このプログラムに参加して自分が成長したような気がして、参加してよかったとおもいました。ただ授業を受けることより自分の意見をよく言えるようになって、今回のいろいろな経験を基にしてこれからの発表とか難しい教育授業などもあきらめなくてうまくできるという自身間ができました。またはいろいろなテーマについて考えてみた時間でプログラムに参加した前より世を見るめがもっと広がって、深く考える力も養うことができました。このような偉いプログラムがあったらぜひまた参加したいと思います。留学生のためのこのようなプログラムがもっとたくさんできてほしいです。また、今回のプログラムを企画して準備して、私たちに優しくしてくれた松永先生とゼミの皆さんに感謝の気持ちを与えたいです。

ありがとうございました。

学習成果に関するレポート

余銅基

九州大学の日本語教育実践者養成プログラムに参加しました。一方的に「学ぶ」のではなく「考える」ことのできるプログラムだったので、次にまたこのような機会があれば、また日本で勉強・研究したいと思います。

日本語教育実践者養成プログラムは日本人や留学生に院生が協力し合って授業や討論を進めていました。留学生の院生も積極的に発表・授業に参加していたので、授業に参加する側としても大変勉強になりました。他の国で日本語を教えた経験のある日本人や留学生の院生の話は、韓国以外での経験のない私にとっては一つも聞き逃せない大切な話でした。実体験者の話は、本などで勉強するのとは比べ物にならないくらい勉強になる話でした。

プログラムの中で扱われたテーマも様々で、一般の授業とは違う学習活動ができたと思います。大学院では自分の研究分野のことだけに集中してしまいがちなところがありますが、今回のように自分の興味のあるテーマを持つてくることによって、日本語教育の様々な分野に目を向けられる機会になったと思います。関連分野の知識を身につけることで、お互いの研究も捗ることになると思います。

プログラムに「自主プロジェクト」の発表の日があり、プログラム参加者にも発表の機会が与えられました。私は日本滞在中にチラシや広報資料など、身近なところで手に入れられるものを収集し、それらの生教材としての意義を分析しました。日本にいるからこそできることだったので、とてもやりがいのある活動でした。自主プロジェクトの発表にも多くの院生が集まり、それぞれ自分の経験や意見を話し合えました。

このプログラムでは、院生と交流ができたことが、なによりうれしかったです。お互いに学びあうことができるというのは大学院の学習・研究として最も望ましい形ではないかと思います。話し合いの中で、他の研究者の考え方や文化の違う研究者の意見にも触れ、これからの研究にも役に立つことになると思いました。

日本にいた1ヶ月がまるで1年のように思えるくらい、充実した時間が過ごせました。もし、このプログラムが決められた授業内容とカリキュラムによって進められるようなものでしたら、こんなに充実した気分にはなれなかったと思います。プログラムに参加した院生がそれぞれの研究テーマや興味のあること、他の留学生に伝えたかったことを教室に持ち込み、自由に学びあうことでこの充実さが生まれたのだらうと思います。今までは自分の勉強や研究にだけ努め、他の研究者の考えや意見に耳を傾けることは滅多にありませんでした。しかしこの度のプログラムで多くの真摯な研究者に出会えました。これからは他の研究者にも注目しつつ自分の研究内容や考え方も他の研究者に伝えられるような活動をしていきたいです。このプログラムは、日本語教育に関する勉強ができたのはもちろん、これからの研究活動の進むべき道を示す道標にもなりました。

日本語の先生を目指しての1ヶ月

安芝恩

日本語の先生を目指して勉強していた私に「日本語教育」について勉強できるプログラムがありまして、しかもそのプログラムに参加できて何より嬉しかったです。あっという間に日程が進み、プログラムが終わったことが信じられないくらい楽しく授業を受けましたので、短い1ヶ月の間、自分の実力をアップできるように一生懸命勉強できたと思います。

以前留学したことがありましたが、その時は何も知らずに日本の生活になれるために、授業についていくためにばたばたした覚えがありますが、今回は1ヶ月間の短いプログラムでしたので、より集中して勉強できたと思います。以前留学して勉強した時の復習を兼ねて、日本語先生の資格をとるための勉強にもなりましたので、短い1ヶ月でしたが、以前より猛勉強したような気がするくらいです。

1ヶ月の間、様々な内容について勉強することができました。日本事情、模擬面接体験、浴衣着付け体験、お寺・神社・日本語教室の見学など様々な授業がありまして、自分の勉強しているところの足りない部分を補うことができましたし、勉強したところは復習することができましたので、1日1日を大切に思いながら毎日の授業を楽しめました。

授業の中でポスター発表というのがありましたが、実際に初めて見たものでしたのでその発表のやり方に少し驚きました。博士課程に進学することを常に考えているので、私にポスター発表のような発表ができるかどうか心配でした。しかし、発表参加者のみなさんの発表を聞いて、発表者の考えに興味のある方々に説明することだというのが分かったので、それなら私にもできるという自信が持てました。

プログラムの中にディベート講座がありまして、他の国の日本語学習者たちと一つのテーマについてメリット・デメリットについて意見交換できる時間がありました。日本語を長年勉強してきましたが、ディベートのようなものは全く初めてでしたので、日本語のレベルとは関係なく自分の考えを論理的に話さなければならなかったので緊張の連続でした。そして自主プロジェクトというのがありまして、プログラムの最後の日にチーム別に自分たちのテーマについて発表をしました。テーマは一つでも構いませんでしたが、できるだけ色々なことについて考えたいと思いまして、テーマを三つにしました。日本語教育について勉強しながら三つのテーマについて常に考えていたことでしたので、勉強・復習・話し合いをしながら発表の準備ができました。

発表の時は緊張のあまりガチガチしてしまいましたが、他の参加者たちも私たちの発表テーマに興味を示してくれて嬉しかったです。担当の先生から「研究テーマとしても使えるテーマだった」との評価がありまして、何よりもうれしかったです。本当に今回のプログラムに参加して良かったと思います。また日本で留学できるように、これから国費奨学生を目指して勉強したいと思います。またこういうプログラムがありましたらもう一度参加したいと思えるくらい自分にとって有意な一ヶ月を過ごせて、日本語の先生に一步近づけたような気がします。ありがとうございました。

II 資料編

大河ドラマに関するクイズ

仇 文俊
2012-8-2

一、クイズを教えてください。
(正解:5点、誤解答:0点)

1

大河ドラマで初めて武士や貴族階級に属さない人物を主人公にした作品は？

- 第5作
「三船編」
- 第16作
「黄金の日日」
- 第18作
「獅子の時代」

正解は 第16作「黄金の日日」

大河ドラマでは第1作「花の乱」の太宰・丹波前田以実、次に武士たちを主人公としていた。しかし、「黄金の日日」は明治時代の商人・日清製鉄所長 西川良五郎を主人公に迎え、戦国時代を背景の物語も取り入れて描いたドラマだった。第5作「三船編」、第18作「獅子の時代」はともに新選組の人物が主人公だが、武蔵の人々だった。

2

第42作「武蔵MUSASHI」で武蔵と小次郎の崖渡り決闘のシーンは、ある映画と同じ手法を使ってロケが撮影された。その映画のタイトルは？

- 「七人の侍」
(1954年)
- 「スター・ウォーズ」
(1977年)
- 「マトリックス」
(1999年)

正解は 「マトリックス」

大河ドラマ40周年記念作品だった第42作「武蔵MUSASHI」では、崖渡りの決闘シーンをよりドラマチックに見せるため、「多視の撮影システム」が導入された。このシステムは映画「マトリックス」の撮影で使用されたもので、今では多くの映画、ゲーム、アニメなどの撮影に使われている。

3

第40作「北条時宗」で、時宗の父・時相を演じた渡辺謙は、最終の陣取、疫病にかかった様を表現するためにあることをした。それは次のうちどれ？

- 金粉を塗った
- 2日間徹夜した
- 映画を抜いた

正解は 金粉を塗った

13世紀の鎌倉中期を舞台にした「北条時宗」。当時お前さんが地味な服装がはやり、時宗(和泉元朝)の父・時相も連兵に頼った。時相を演じた渡辺謙は、最終の陣取、疫病に苦しんだ渡辺謙(時相)を金粉を塗ることで表現。軍曹(時宗)に、疫病の力を借りながら「時相を救せー」と演じたシーンは、発見するものがなかった。

4

次の作品の中で、司馬遼太郎の原作ではない作品をひとつ選んでください。

- 第15作
「花神」
- 第6作
「龍馬がゆく」
- 第47作
「篤姫」

正解は 第47作「篤姫」

「篤姫」の原作は宮城野矢子著「天璋院篤姫」でした。大河ドラマの原作となった司馬遼太郎作品は次の8作品です。
第9作「龍馬がゆく」 第11作「国盗り物語」 第15作「花神」
第29作「龍馬がゆく」 第37作「徳川慶喜」 第45作「功名が辻」

5

初めて女性を主人公にした作品は、第5作の「三姉妹」でした。では、初めて実在の女性を主人公にした作品は次のうちどれでしょう？

第17作
「草紙巻る」

第24作
「いのち」

第27作
「春日昇」

正解は 第17作「草紙巻る」

第5作「三姉妹」に登場したむら、るい、雪の3人姉妹は架空の設定でした。第17作「草紙巻る」では、前半の主人公・源頼朝（石坂洋次郎）が第32回で死ぬと、それ以降は妻・北条政子（若下志麻）を主人公としてドラマが進みました。

6

幕末を中心に描いた次の大河ドラマの中で、ひとつだけ坂本龍馬が登場しない作品があります。それはどれでしょう？

第12作
「幕末」

第18作
「獅子の時代」

第43作
「新選組！」

正解は 第18作「獅子の時代」

「獅子の時代」は、幕末から明治前期が舞台になりましたが、歴史的英雄の活躍ではなく、架空の（元）会津藩士と（元）薩摩藩士の生き方を描いた異色作でした。そのため、坂本龍馬は登場しませんでした。

7

第35作「秀吉」から流行したことは、次のうちどれでしょう。

わたしにお任せくださいませ！

心配御無用！

さればござる

正解は 心配御無用！

「心配御無用！」は、主人公の秀吉がよく口にしてのことから流行。「わたしにお任せくださいませ！」は、第41作「利家とまつ」で松島陣々子演じるまつが決めゼリフだった。また、「さればござる」は、第34作「八代御前 吉宗」で家内人を兼ねた近衛門左衛門（江守徹）の定番のゼリフ。

8

50作の大河ドラマの中で最も古い時代設定で描かれた作品は？

第8作
「旗本退屈」

第14作
「風と雲と虹と」

第33作
「花の嵐」

正解は 第14作「風と雲と虹と」

平安中期の平将門の乱（939-940年ごろ）にスポットを当てた作品で、主役の平将門を加藤清が演じた。平安時代を舞台にした作品には、ほかに第4作「源義経」、第10作「新・平家物語」、第32作「真立つ」、第44作「義経」などがあるが、平安末期の平安全盛から滅亡のころが舞台となった。

9

第10作「北条時宗」で、時宗の異母兄・時輔を演じた渡部篤郎は、その熱演はもちろん、衣装でも話題になりました。彼が身につけていたものとは何でしょう？

ブーツ

スカーフ

帽子

正解は スカーフ

北条時宗の異母兄・時輔を演じた渡部篤郎は、一度「死んだ」こととなりますが再び登場できます。そのときの姿は中国風のゆったりした衣装で、首に赤いスカーフのような布を巻くなど最新のファッションだった。その多くは演じる渡部が細部までこだわって提案したものだと言われる。

10

第43作「新選組！」にはSMAPの草薙剛が友情出演した。その役名は？

幕府の軍艦頭
榎本武揚

米國公使館
ヒューズケン

土佐勤王党
武市半平太

正解は 幕府の軍艦頭・榎本武揚

前田伏見の戦の後、近藤、土方らが船で江戸に引き上げた際、榎本も同乗。榎本は旗本同朋丸の艦長だったが、將軍・慶喜が榎本不在のまま江戸に向けて出陣したため、近藤らと同じ船に乗っていた。洋装の軍艦に興味を持った土方は、どこで手に入れたかを尋ねたが、榎本は微笑みだけだった。

11

第27作「春日局」から流行し、オフィスで定着した言葉とは？

お船(ゆかた)様

お月(つばね)様

上(うえ)様

正解は お月(つばね)様

今でもオフィスで定着している「お月様」という呼称は「春日局」人気から一般的に使われるようになったとされている。もともとは將軍軍邸などに仕え、高い地位にある女性の敬称でドラマでも使われていたが、オフィスでは、権威をふるうキャリアの強い女性社員のことを指すなど、本来とは違う使われ方が多いようだ。

12

第45作「功名が辻」、山内家家臣で一貫に守り役として仕える吉兵衛が、ことあるごとに山内家の旗印について懸念をふるうときのせりふとは？

合戦の折、
失った旗指物の
代わりに…

旦那様の命を
受けたわしが
考えた…

とある戦で
功名を立てた
折に頂いた…

正解は 合戦の折、失った旗指物の代わりに…

武田勝久演じる吉兵衛は「旦那様のお父上、山内成豊様が合戦の折、失った旗指物の代わりに、物の枝を背中に入れて頂いました。源氏の末、勝利なさった時、木の葉が3枚だけ残っていたのです」と、丸三葉の旗印のいわれを語った。

13

第1作「花の生涯」放送時、大河ドラマという名称はまだなかった。では当時は何と呼ばれていた？

大型時代劇

大型歴史ドラマ

日曜時代劇

正解は 大型時代劇

第1作が放送された1963年当時、呼称では同番組を「大型時代劇」あるいは「大型連続時代劇」などと表記していた。シリーズとしてほぼ定着した1967年放送の第5作「三銃弾」からは「大型歴史ドラマ」と呼ぶようになり、「大河ドラマ」という呼称が使われ始めたのは1977年放送の第15作「花燃ゆ」から、以降、次第にこの呼称が定着していった。

14

大河ドラマ史上、最年少で主演に抜擢された俳優は次のうち誰？

第4作
「源義経」の
堀上勇之助

第44作
「義経」の
滝沢秀明

第47作
「篤姫」の
宮崎あおい

正解は 第47作「篤姫」の宮崎あおい

第47作「篤姫」で篤姫を演じた宮崎は、放送開始時点で22歳1か月。第44作「義経」で源義経を演じた滝沢秀明は、宮崎の次に若い22歳8か月だった。また、最年少で主演を務めたのは第39作「英 徳川三代」で徳川家康を演じた津川雅彦。放送開始時点で60歳だった。

15

大河ドラマと連続テレビ小説の両方で主演したことがあるのは2人。宮崎あおいともう1人は？

松本美津子

松嶋菜々子

三浦佳子

正解は 松嶋菜々子

松嶋菜々子は連続テレビ小説54作「ひまわり」でヒロイン・のぞみを演じ、大河ドラマ第41作「実録とまこ〜加賀屋万石物語〜」で本物のまつを演じた。また、宮崎あおいは連続テレビ小説第74作「新橋からり」でヒロイン・優子を、大河ドラマ第47作「篤姫」で全員の篤姫を演じた。

16

登場人物の中に実在の人物が登場しない、大河ドラマとして異色の作品とは？

第5作
「三銃弾」

第22作
「山内徳ゆ」

第24作
「いのち」

正解は 第24作「いのち」

第24作「いのち」は、太平洋戦争後、医師として生きた高屋平兵衛（三浦佳子）が主人公。戦後の混乱、東照宮廟、オイルショックなど時代背景は史実に基づいているが、登場人物はすべて架空の人々だった。ほかにも第18作「獅子の時代」、第22作「山内徳ゆ」など、架空の人物が主人公のものはあったが、実在の人物も登場した。

17

滝沢秀明主演の第44作「義経」では、五疊の大橋シーンで弁慶との対決を桜吹雪で彩り話題になった。では、同作品で熊ノ面の白旗シーンを彩ったのは？



正解は 金粉

第44作「義経」では、時代絵巻をほうふつとさせるげんざんたる演出が随所になされていた。平家の殺えんを演じた熊ノ面の白旗で使われたのは金粉だった。また、第45回放送で静（石原さとみ）が藤原（中井貴一）の前で舞うシーンでは、着る紅葉が効果的に使われた。

18

第47作「筑姫」のなかで、筑姫と小松磐刀が生まれたときに、後に権主となる島津斉彬からもらい、生涯2人の友情の証となったものは？



正解は お守り

筑姫と小松磐刀は、島津家の家紋がついた袋に入ったお守りを友情の証として生涯持ち続けた。当時は本来、お守りは袋に入っていたが、お札だけでは分かりづらいという理由から、高杉が作らせたという設定で家紋入りのお守り袋が作られた。

19

第47作「筑姫」で、製作を起こし床にふせった夫・徳川家定に、筑姫が届けたモノとは次のうちどれ？



正解は 碁石

夫・徳川家定に目通りがかからないことを不審に思う筑姫だが、家定付きの医者・伊東玄朴は、本寿院（家定の生母）の命に従い、家定の病状を筑姫には伝えず「公徳多忙」と説明。「ならばせめて、これを渡してほしい」と筑姫が手渡したのが碁石だった。

20

信長、秀吉、家康の三英傑中、大河ドラマ最多登場は信長だ



こたえ



最多は演義で、第3作「大岡政談」から第50作「江戸っ子」まで17作品に登場している。秀吉は16作品、徳川は14作品。

二、先に手を挙げた人が答える。
(正解: +10点、誤解答: -5点)

1

武井-徳川家康の生涯を伝えた「天地人」が、徳川家康の偉業の中心に描かれた大河ドラマで、



2

MM大塚フマコの作「黒船」、江戸幕府の元将軍の御台所は居て、幕府に仕えた奥の生活を描く作品です。幕府が昇華したのか？

- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府

3

2010年1月～10月に放送予定のMM大塚フマコの作「黒船」は、主人公の幕府生活を描く作品です。主人公は誰ですか？

- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府

4

2013年放送予定のMM大塚フマコの作「黒船」は、主人公の幕府生活を描く作品です。主人公は誰ですか？

- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府

5

2013年放送予定のMM大塚フマコの作「黒船」は、主人公の幕府生活を描く作品です。主人公は誰ですか？

- 徳川幕府
- 徳川幕府

6

2013年放送予定のMM大塚フマコの作「黒船」は、主人公の幕府生活を描く作品です。主人公は誰ですか？

- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府

7

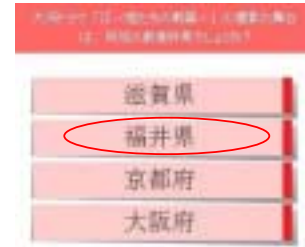
2013年放送予定のMM大塚フマコの作「黒船」は、主人公の幕府生活を描く作品です。主人公は誰ですか？

- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府
- 徳川幕府

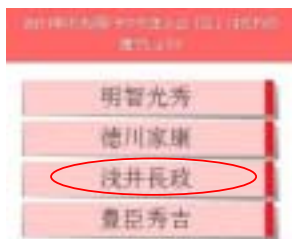
8



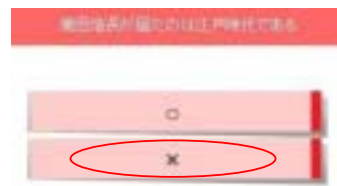
9



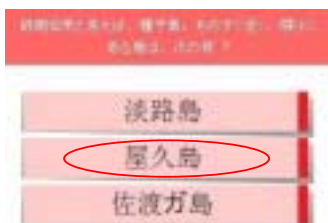
10



11



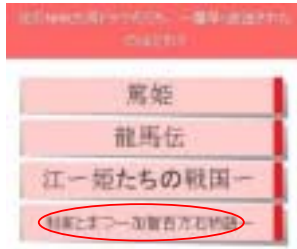
12



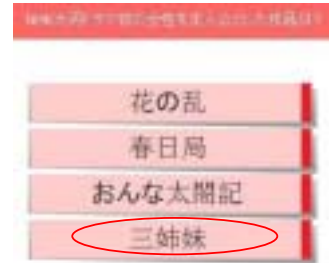
13



14



15



以上です。
ありがとうございました。

プギョン大学夏期研修 日本事情1:最近の話題

8月9日 13:00-14:30
原山有希・張松儀



目的・目標

- 来週から一週間、自主活動があります。
- そこで出会う日本人とたくさん会話をして、良い出会いをしてください！
- いろんな人と出会うため、また、会話をはずませるために、ここ最近日本で起こった出来事や最近の話題を紹介します。
- ぜひ会話のネタにしてください！

本日のめにゆー

- I. 講義 40分
 - 今年の梅雨
 - エネルギー問題
 - 道州制
 - 少子高齢化
- II. 講義内容を使った会話 20分
- III. まとめ 15分

今年の梅雨



雨の影響で、道路がいまだに工事中の所が多々あります。
田舎や山への旅行は気をつけましょう。



エネルギー問題

エネルギー問題

- 2011年3月11日
- 東京電力福島第一原子力発電所の事故
- ⇒ 原子力発電に対する意識変化
- * 原子力発電
- = 原発(げんぱつ)



震災前のエネルギー計画

再生可能エネルギーの可能性を模索中!!

クリーンエネルギー紹介

地中熱を利用した空調(冷房・暖房)の紹介



神戸：(株)はな住宅研究所
フィアスホームおしなほ

でんき(電気)予報!!

- 日本は今、全国、節電実施中です。
- 計画停電にも注意を!



道州制

提案されている道州制のポイント

- 道州制とは?
- 2008年ごろにはすでに自民党政権内で議論があった。
- ① 現行の都道府県制度を廃止し、東北、関西、九州といった広域圏を単位に、9~13の道州につくり変えること。
- ② その広域圏にある各県庁と国の出先機関を統合し、国から権限を移すことで州政府をつくること。
- ③ 州政府を公選の知事と議会をおく地方自治体とし、交通、産業、環境などの広域政策を展開する内政の拠点にするということ。

道州制に変わるかも?





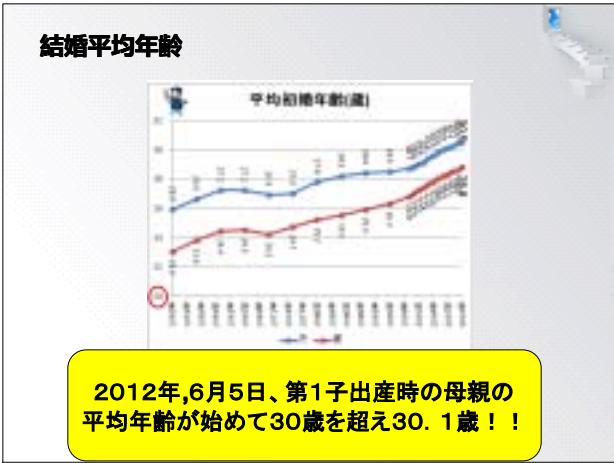
少子高齢化について

日本の高齢化事情
教科書P168-169

対策
少子高齢化対策の一つに**婚活(こんかつ)**があります。

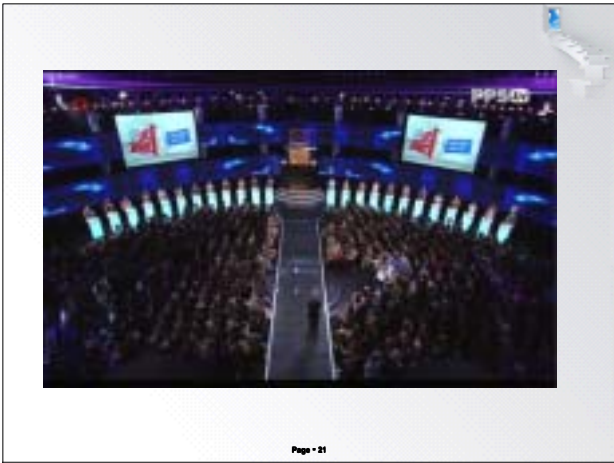
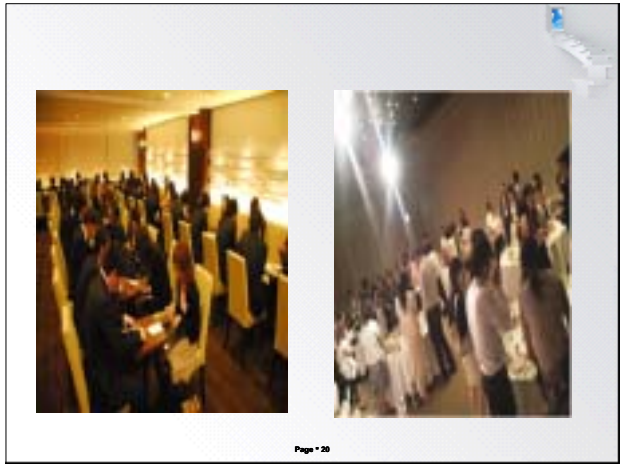
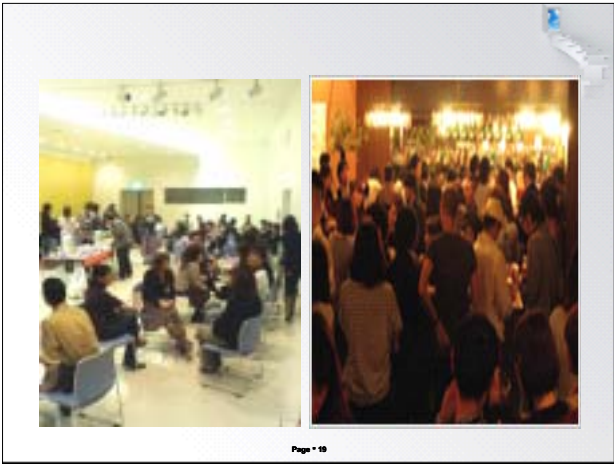
**婚活とは、
結婚するための活動のことです。**

Page * 14



- 形式がさまざま**
- 2011.03.21 4月10日(水) 20:00~ ゴルフDE婚活コンペ
 - 2011.03.21 4月19日(火) 20:00~ ジブリ好き限定飲み会
 - 2011.03.20 4月18日(月) 20:00~ テーマなし飲み会
 - 2011.03.11 4月17日(日) 17:30~ 20代後半~30代プラン
 - 2011.03.19 4月16日(土) 18:00~ 初参加&若者プラン
 - 2011.03.18 4月16日(土) 14:30~ 年上のお姉さんプラン
 - 2011.03.18 4月15日(金) 20:30~ Free Style 合コンパーティー
- Page * 17





日本事情2 九州の地方産業

8月10日13:00-14:30

原山有希・張曉蘭

本日のめにゆー

<キーワード> 「地消地産」「地域ブランド」

<学習目標>

- ・九州を事例に「地域ブランド」について学ぶ。
- ・来週の自主活動に向けて「田舎」でなく、「地域」としての知識を付け理解を深める。

<流れ>

講義 約40分

ディスカッション 30分

まとめ 10分

テーマ1: 地産地消 (ちさんちしょう)

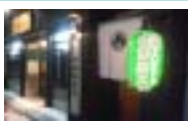
3

【地産地消とは?】

「地域生産ー地域消費」の略語

地域でとれた農林水産物をできるだけ地域で消費しようという意味。

栄養バランスの偏った食生活や生活習慣病の増加、食料自給率の低下、虚偽表示等の問題など食をめぐる多くの問題がおこっており、消費者の食の安全・安心に対するへのニーズや健康志向が高まっています。



テーマ1: 地産地消 (ちさんちしょう)

《消費者のメリット》

- 新鮮で安心な食材を買うことができる
- 生産者の顔が見え、安心
- おいしい食べ方を教えてもらうなど生産者との交流ができる
- 本来の「旬」の味を知ることができる



《生産者のメリット》

- 新鮮で栄養価の損なわれない食材を提供できる
- 産直施設などに規格外のものを販売できるため無駄が減る
- 消費者のニーズを知ることができ、生産意欲が高まる
- 流通コストが安くなり、所得の向上につながる
- 農業に対する理解が深まる

テーマ1: 地産地消 の例

5

【伊都菜彩】

・糸島市にある直売所。2007年オープン

<販売内容>

- ・野菜、果物
- ・鮮魚
- ・花
- ・加工品



☆2011年度の売り上げ32.9億円。

☆年間127万人の集客。全国1位。



テーマ1: 地産地消 の例

【伊都菜彩の影響】

- ・高齢者の自立
- ・女性農業者の販売ステージ
- ・組合員の再結集
- ・糸島地域のファン作り
- ・食育の拠点



最近

- ・大震災の影響で電話注文で販売を実施。
- ・買い物難民対策として移動販売を検討中。



「伊都菜彩」という名前前の地域ブランド化に成功

テーマ1: 地産地消

7

九州大学から近い!



九州大学はこのあたり

テーマ2: 地域ブランド

【地域ブランドとは?】

- ①特定の地域で産出される野菜や果物・魚や肉などの生鮮特産品。また、そのような特産の素材や伝統の技術を活かして製造される加工食品等の商品。
- ②特定の地域で提供される温泉地やリゾート地などのサービスのブランド。

例: 熊本県、黒川温泉

渓谷にある温泉地であることから収容人数は少なく、旅館組合の主導で歓楽的要素や派手な看板を廃して統一的な町並みを形成。
⇒過度な宣伝はせずに、インターネットの口コミで広まる。2007年熊本県「地域ブランド」指定。



テーマ: 地域ブランド

特色ある地域づくりの一環として、地域ブランド作りが全国的に盛んになる。

<地域団体商標制度>

地域ブランドの保護・振興のため2006年4月に導入。

従来の商標法では、地域名と商品名からなる商標は、商標としての識別力を有しない、特定の者の独占になじまない等の理由により、図形と組み合わせられた場合や全国的な知名度を獲得した場合を除き、商標登録を受けることはできなかった。

地域の特産品にその産地の地域名をつける等、地域名と商品名からなる商標が数多く用いられている。

- 地域ブランドの育成、地域経済の活性化を支援
- 地域ブランドを適切に保護することにより、競争力の強化
- ⇒*2011年は登録件数が過去最大の478件。



資料2・・・全国の地域ブランドで知っているものはありますか?

テーマ: 地域ブランド

【ゆるキャラ】

=「ゆるいマスコットキャラクター」

イベント、各種キャンペーン、地域おこし、名産品の紹介等の地域全般の情報PR。



ひこにゃん (滋賀県彦根市)



パリイさん(愛媛県)



モチちゃん (福岡県太宰府市)

テーマ: 地域ブランド

【「ゆるキャラ」の条件】

1. 郷土愛に溢れた愛おしいキャラクター
2. 地域の特産品や文化を表現している
3. 地域を代表する商品やサービスと結びついている



ゆるキャラグランプリ2011

順位	出身	キャラ名	得票数
1位	熊本県	ぐまモン	287,315
2位	愛媛県今治市	パリイさん	246,238
3位	東京都墨田区	にしこくん	174,079
4位	熊本県大田原市	号ーくん	172,798
5位	愛知県名古屋	はち丸・だなも・エビザバス	168,756
6位	埼玉県深谷市	ふっかつちゃん	154,243
7位	福岡県北九州市	モモマルくん	126,583
8位	岐阜県岐阜市	やなな	115,866
9位	大阪府茨田町	海ノ瀬ゆずる	110,900
10位	新潟県	レル七さん	90,569

まとめ



今回の日本訪問では、いつもとは違う商品に目を向けて、買い物や食事をしては!?



日本事情3 日本の産業構造と企業

8月21日13:00-14:30
原山有希

本日のためにゆー

<キーワード> 「就職」「中小企業」

<学習目標>

- ・日本の「中小企業」について学ぶ。
- ・日本の就職活動について知る。

<流れ>

講義 約40分

作業 40分

まとめ 10分

日本の大学生の就職

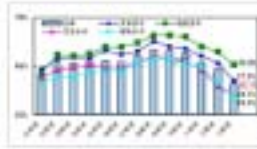
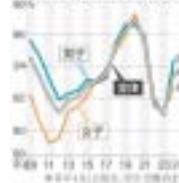
・2009年におきたリーマン・ショック以降、中小企業への就職志向が増えている。

- ・中堅・中小企業志向は59.2%、(調査を始めた平成13年卒以降最高だった前年から、さらに8ポイント増加)
- ・一方、大手企業志向は同7.2ポイント減の36.1%で過去最低。

2012年1月以降、大学生1万6千人が就職。
「その就職先の圧倒的多数が中小企業だった」
(厚労省)

⇒大企業に対する不安感
中小企業は若いうちから仕事を任せてもらえる。
就職活動独特の問題(時期、活動内容)

大学新卒者の就職率の推移



テーマ: 日本の産業構造

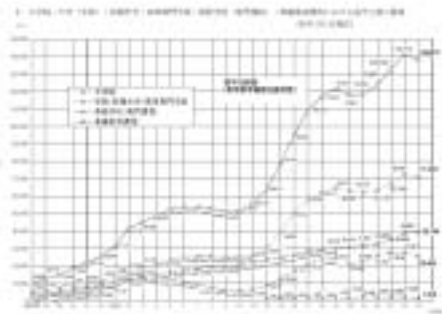
【中小企業】

- 日本の企業全体の約4分の3を占める。
中小企業者の定義(中小企業基本法第2条)
<業種・従業員規模・資本金規模>
- ・製造業・その他の業種: 300人以下又は3億円以下
 - ・卸売業: 100人以下又は1億円以下
 - ・小売業: 50人以下又は5,000万円以下
 - ・サービス業: 100人以下又は5,000万円以下



- 1950年代中期～1970年代初期 高度経済成長 大量生産
- 1970年代 安定成長 品質向上
- 1980年代 安定成長(+バブル景気) 多品種少量生産
- 1990年代 バブル崩壊 品質の独創性などの差別化

日本の留学生数の推移

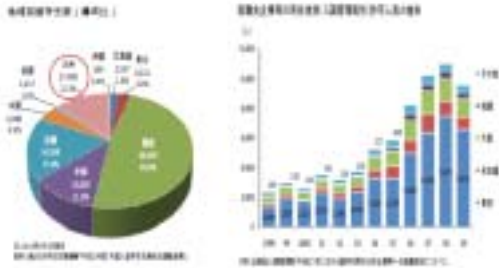


留学生の就職状況

別紙で留学生の就職先企業規模と職種を確認しましょう。

留学生の就職先地域

7



福岡には467人しか就職していない！

福岡国際大学 国際学部 国際課

就職活動の流れ



福岡国際大学 国際学部 国際課

選考試験 ①書類選考

選考試験の最初に行われる試験。

<履歴書>

「学歴」「資格」「趣味」「卒論・研究テーマ」などに、簡単な自己PR(200字程度)を加えたもの。

<エントリーシート>

「自己PR」「応募の動機」「将来の展望」などを、それぞれ400～800字で記入する。A4用紙を全部使って「自由に自分を表現してください」というものもある。提出方法は、インターネットが最も多く、次に郵送、説明会時に持参となる。人気企業にもなると、エントリーシートの提出数1万通を超える。2万通以上の企業も多い。

配布した資料で違いを確認してみよう！

福岡国際大学 国際学部 国際課

選考試験 ②筆記試験

【SPI試験】

「Synthetic(総合的な)Personality(個性・性格)Inventory(評価)」の略語。適性テストと能力テストを合わせたもの。

<適性テスト>

テストと言いつつ人物像(性格)を明らかにするのが目的。内容は100～250問程度で、「あなたは物事をじっくり考える方ですか」等々の設問に対して直感的にイエス、ノーで答える形式。

<能力テスト>

国語と算数に近い数学のテスト。高得点を取る人ほど、採用の可能性が高まる。特に受験者が多い企業においては、とても一人一人面接をすることが難しいため、この能力テストで自動的な足切りをしている。

言語問題(国語)40問30分、非言語問題(算数)30問40分に、性格検査が約40分で、合計約110分という形式が一般的。

福岡国際大学 国際学部 国際課

選考試験 ③面接試験

内定への最後に行われる。1回の面接で終わるのではなく、1次、2次、最終と平均3回程度。また、アルバイトや入試に経験した面接と違い、学生一人で受ける個人面接、学生二人以上で受ける集団面接、与えられたテーマについて学生5、6人で討論するグループディスカッションなど、種類もさまざま。

<個人面接>

○プレゼンテーション面接・技術面接
自己紹介や業界戦略、新製品など、与えられたテーマについてプレゼンテーションする。PPTや資料を使って5分程度でプレゼンをし、その後質問を受ける。

○逆質問

学生が企業の面接担当者に質問する面接。事前に企業への質問を考え、質問内容によって企業や仕事の理解度、入社意欲などを測る。

<集団面接>

学生数人に対して面接担当者一人から数人で行われる。個人面接のように面接担当者が学生に質問する形式のほか、グループディスカッション、グループワークなどがある。

○グループディスカッション

学生5、6人で、与えられたテーマについて議論する。時間は30分から1時間で、議論の進め方は基本的には学生にまかせられ、通常は司会、書記、タイムキーパーなどの役割を決めてからディスカッションを始める。学生のコミュニケーション能力を測るのが主な目的とされている。

○グループワーク

課題を解決するのに議論だけでなく、作業を伴う面接方法。全員で何かを作り上げる、ゲームのようなことをするという内容が多い。最終的に答えを導き出すことよりも、コミュニケーション能力や積極性が重視される。



福岡国際大学 国際学部 国際課

試してみよう！

その①
筆記試験を解いてみよう！

その②

実際に九州大学の履歴書を使って自己PRを書いてみよう。
祝利さん、笹村さん、季さん、皆さんを手伝ってください！
笹村さん！次回クラスの受験者に入れます！（ありがとう！！）

書くところ <表> 名前、最終学歴のみでOK
<裏> 全部

* 書き終わったら、一度提出してください。印刷して返します。

その③ 次回のクラス

履歴書を使って面接を受けてみよう！
天野さん、祝利さん、原山が面接官。笹村さん受験者。

福岡国際大学 国際学部 国際課

本日のためにゆー

<キーワード> 「留学生の採用ポイント」

<学習目標>

- ・日本での留学生の就職活動について知る。
- ・日本企業が求める留学生の能力について知る。

<流れ>

個人面接 30分

集団面接 20分

反省会 15分

講義 15分

まとめ 10分

東京国際大学国際学部国際教育センター

面接を行います！！

<個人面接 1人 5分間>

- ・3~4つ質問をします。

順番を待つ皆さんも教室と一緒に様子を見ましょう。
全員みんなの評価シートを書いてください。

<集団面接 15分>

- ・質問をいくつかします。
- ・ちょっと変わったことをするかも!?

受かりたい！という気持ちを持って真剣に行いましょう！(^ ^)

東京国際大学国際学部国際教育センター

自己評価をしてみましょう！

面接はどうでしたか？

- ①自己評価シートを書いてみましょう！
- ②各面接者へ評価シートを配ります。
- ③それぞれ確認して、感想や反省を話しましょう。

東京国際大学国際学部国際教育センター

留学生の採用について

【採用試験】

採用時に重視することは、「面接」が約90%、「語学力」約80%。
エントリーシートやSPI試験について、あまり重視しておらず、コミュニケーション能力、人物本位、日本語力が採用の大きなウェイトを占めている。

SPI等の能力試験は企業規模が大きいほど重視する傾向がある。

【留学生の採用理由】

- 1位・・・国籍にかかわらず優秀な人材がほしい (39.0%)
- 2位・・・海外の取引先と関する業務を行うため (14.3%)
- 3位・・・海外にある自社企業の幹部候補にするため (12.5%)
- 4位・・・海外へ進出するため (12.5%)
- 5位・・・海外にある自社企業と連絡、調整をするため (11.1%)

東京国際大学国際学部国際教育センター

採用のポイント

【企業が留学生を採用したポイント】 【外国人社員を採用するポイント】

採用ポイント	採用率	採用ポイント	採用率
1 日本語能力	86.0%	1 日本語能力	86.0%
2 海外経験・語学	76.0%	2 海外経験・語学	76.0%
3 日本語以外の語学	76.0%	3 日本語以外の語学	76.0%
4 海外への語学	62.0%	4 海外への語学	62.0%
5 学歴	62.0%	5 学歴	62.0%
6 海外の文化・生活に関する知識	52.0%	6 海外の文化・生活に関する知識	52.0%
7 人脈・紹介	42.0%	7 人脈・紹介	42.0%
8 学費・奨学金	42.0%	8 学費・奨学金	42.0%
9 学歴	42.0%	9 学歴	42.0%
10 海外経験	32.0%	10 海外経験	32.0%
11 その他	32.0%	11 その他	32.0%

日本語能力は絶対に必要！！

東京国際大学国際学部国際教育センター

日本語能力は？

【日本語能力について】

日本人と同等の日本語レベルであってほしい。

日本語能力試験ではN1レベル。

*海外にある日系企業の場合はN2程度、仕事の内容で変わってくる。

【採用者の声】

- (1) 企業は、ビジネスシーンでの会話やビジネス文書を書くことを求めているのではない。一般的な日本語で話したり、書いたりできることが必要。
- (2) 面接での応答の採点ポイントは、質問に合った答え、的確な答えをすること、論理的に理路整然と答えること、とにかく自分の意志を伝えられること、自己PRできること。
- (3) 話す内容が重要で、助詞や発音などが多少間違ってもよい。入社後、新入社員は研修によって、その会社にあった日本語を指導。そのため、その研修がスムーズに進むような日本語、日本人といっしょに研修をしても支障がないような学生を求めている。

東京国際大学国際学部国際教育センター

まとめ

日本国内で就職をするなら、

- ① 日本語能力をとにかくつけること！
- ② とくかく早い時期から具体的な目標を見つけて試験の準備をすること！

以上！
おつかれさまでした！



海外日本語教育事情



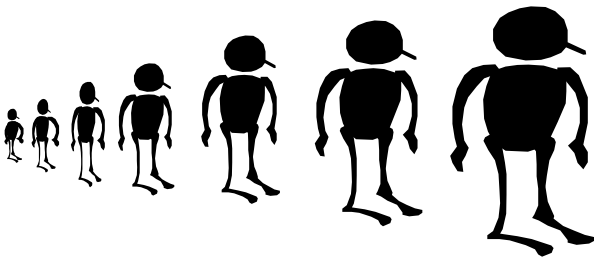
クイズ1.

世界の日本語学習者数は??



133の国と地域

約365万人



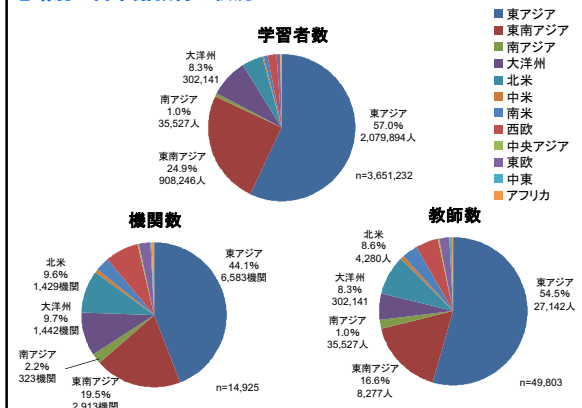
クイズ2.

日本語学習者が多い国・地域は??



1. 韓国
2. 中国
3. インドネシア
4. オーストラリア
5. 台湾
6. アメリカ

地域別の日本語教育の状況





★★★グループで話してください★★★



1. みなさんの先生は韓国人？ 日本人？ どんな先生？
2. 外国語はネイティブの先生に習うほうがいいと思う？ 思わない？
それはどうして？
3. 日本語教師になったら、日本人の先生と一緒に授業したい？
4. 韓国人日本語教師の強みは？ 日本人日本語教師の強みは？
5. 韓国人教師と日本人教師と一緒に協力して教えるとき、何が大切？

<参考資料>

澤邊裕子・金姫謙(2005)「韓国の中等教育段階における日本語母語話者参加の実際とその意義」『日本語教育紀要』1, 115-129, 国際交流基金
独立行政法人国際交流基金『海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009年概要』

<参考URL>

国際交流基金 ホームページ
<http://www.jpf.go.jp/japanese/index.html>

国際交流基金ソウル日本文化センター ホームページ
<http://www.jpf.or.kr/japanese/index.html>

can do statementsと日本語教育



2012年 8月29日 天野

就職のための面接中です。面接官の質問に答えてください。

なるほど、大学時代は日本語を専攻していたんですね。では…

どのくらい日本語ができるんですか？



<旧JLPT 2級>

- ・ 中級修了レベル。一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きできる能力。600時間程度学習が目安。やや高度の文法・漢字(1,000字程度)・語彙(6,000語程度)が求められる。

<現JLPT N2>

- ・ 日常的場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
- 読む
 - ・ 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明確な文章を読んで文章の内容を理解することができる。
 - ・ 一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。
- 聞く
 - ・ 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。

言語行動

■ can do statements

- ・ 学習者に具体的な言語行動場面を記述した短い文章を提示して、それに対して「できる」「できない」を自己評定により回答させる質問用紙(島田ら、2006)

例) TOEIC、日本の英語能力検定試験(英検)、NHKの語学講座(英語)

■ can do statementsの利点とは？

- ・ 学習者にとって
- ・ 教師にとって
- ・ 企業にとって
- ・ 大学にとって

■ JFスタンダード

- ・ ヨーロッパの言語教育の基盤であるCEFL(Common European Framework of Reference for Languages: Learning teaching assessment)を基礎にして国際交流基金が作成したもの。(『JF日本語教育スタンダード2010』第二版) JFスタンダードを用いることにより、日本語の熟達度をCEFRに準じて知ることができる。→JLPT、「みんなの「Can-do」サイト」

■JFスタンダードの木

■コミュニケーション言語能力
(communicative language competences)
木の根として表現され、言語によるコミュニケーションを支えるもの。言語能力は次の3つで構成される

- ・語彙、文法、発音、文字、表記などに関する「言語構造的な能力」
- ・相手との関係や場面に応じて適切に言語を使う「社会言語能力」
- ・ことばを組み立てたり、役割や目的を理解する「語用能力」

■コミュニケーション言語活動
(communicative language activities)
言語能力を基盤として、木の枝のように広がりがあり、多様性があるもの。

- ・読んだり聞いたりする「受容」
- ・話したり書いたりする「産出」
- ・会話などを行なう「やりとり」
- ・3つをつなぐ役割を果たす「テキスト」や、それぞれの活動と能力をつなぐ「方略」がある



■グループワーク

A1レベルの学習者の目標を
考えてみましょう！



■Aさんの場合

- ・韓国人女性・30歳
日本語は挨拶が少しわかる
- ・夫と小学生の子供がいる。
夫の仕事のために日本へ来たが、まだ知りあいがいない。日本社会のルールが分からなかったり、市役所や子供の学校の手続きがなかなかうまく進まなかったりして困っている。

■Bさんの場合

- ・韓国人女性 20歳
日本語は挨拶が少しわかる
日本語は勉強しやすいと聞いたから、夏休みの1か月だけ日本の日本語学校へ通ってみることにした。親戚がいるからそこに泊っている。日本語学校には色々な国の人がいるし、少し日本国内を旅行する予定だから、楽しく交流するための日本語が学びたい。

<参考>

- ・『JF日本語教育スタンダード2010』第二版 国際交流基金 <http://jfstandard.jp/top/ja/render.do>
- ・『日本語能力試験』 国際交流基金 <http://www.jlpt.jp/>
- ・島田めぐみ、三枝令子、野口裕之(2006)「日本語Can-do-statementsを利用した言語行動記述の試みー日本語能力試験受験者を対象として」『世界の日本語教育(16)2006年8月』 pp.75-88

Ⅲ 編集後記

参加者名簿

- ・韓国プギョン大の参加者（5名）

安 芝恩（修士2年）
余 銅基（修士2年）
イ エラン(学部4年)
李 惠民（学部4年）
鄭 有珍（学部4年）

- ・九州大学大学院比較社会文化学府

松永 典子 教授

- ・九州大学大学院比較社会文化学府ープログラム実施チームメンバー（11名）

相原 幹子（修士1年） 祝 利（博士4年）
原山 有希（修士1年） 仇 文俊（博士3年）
天野 裕子（修士1年） 張 曉蘭（修士1年）
藤野 謙一（修士1年） 張 松儀（特別聴講生）
笹村 はるか(修士1年)
ティヌーシャ・ランブクピティヤ（博士1年）
ダルシャニ・ジャヤセカラ（研究生）

謝辞

2012年度短期日本語教育実践者養成プログラムを実行するにあたり、各方面より多くのご協力ご指導をいただき、衷心より感謝します。

まず忘れられないのは勉強熱心で明るいプギョン大の学生・院生のみなさんです。みなさんの笑顔は担当者の苦労を吹き飛ばす最高のご褒美でした。また各レッスンおよびイベントの担当者の比文の院生たちは最大限の工夫を凝らし、プロらしい教育者としての資質と「もてなし」の精神は受講者の心をとりにし、かけがえのない絆を育みました。さらに比文の特色ある教育制度および先生方のご尽力によりこのような異国の学生と交流する場が設けられたことは特筆に値します。最後に参加者全員を代表して、このプログラムを成功に導くために献身的な努力を惜しまなかった指導教員の松永典子先生に最大級の賛辞を捧げたいと思います。

編集委員会：祝利・仇文俊